

報道機関各位

博物館美術館管理課

沖縄戦後80年 博物館特別展

戦災文化財

- 失われた沖縄の文化財と取り戻した軌跡 -

沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）では、沖縄戦終結から80年の節目にあたり、沖縄戦後80年博物館特別展「戦災文化財 - 失われた沖縄の文化財と取り戻した軌跡 -」（主催：沖縄県立博物館・美術館）を開催いたします。

戦災文化財とは戦争で被害を受けた文化財のことを指します。沖縄戦では住民を巻き込んだ激しい戦闘が繰り広げられ、多くの尊い命とともに町並みや風景だけでなく、先人たちが生み出した数々の文化財も失われました。

本展では、破壊や流出等の被害を受けた沖縄の文化財を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さをあらためて見つめ直します。さらに、戦後の苦しい状況下において、失われた文化財を収集・復元・返還によって取り戻していった軌跡を紹介し、先人たちの努力と沖縄独自の文化財が持つ価値を実感していただける内容となっています。

つきましては、ぜひ展覧会の周知にご協力賜りますようお願い申し上げます。

第1章

失われた沖縄の文化財

—破壊・流出—

激しい戦闘の結果、破壊や流出等の被害を受けた文化財から、沖縄戦の傷ましさを伝えます。



【有形文化財】釈迦如来坐像
(旧円覚寺関係木彫資料)1670年



【重要文化財】ようとののひのもん・極楽山碑文
(琉球国時代石碑) 1620年



【有形文化財】銅鐘残欠
(旧波上宮朝鮮鐘) 956年

第2章

取り戻した沖縄の文化財

— 収集・復元・返還 —



首里城正殿模型（1953年）

戦後、ゼロからの出発を強いられる中、
がれきに埋もれた残欠や本土へ渡った文化財の収集活動、
琉球王国時代の建造物や美術工芸品等の復元、米国へ持ち去られた文化財の返還の軌跡を紹介します。

第3章

平和を求めて

県民から募った、未来へ伝えたい平和を求める沖縄の姿の写真を通じて、平和の重要性を考えます。
※関連企画「未来へ伝えたい“戦災文化財”」にて県民の皆さまから応募いただいた写真を展示します。

※ 広報用画像をご希望の方は  a-uechi@okichura.jp（上地）へご連絡下さい。

【 展覧会概要 】

展覧会名：「戦災文化財 - 失われた沖縄の文化財と取り戻した軌跡 -」

会期：2025年9月30日〔火〕～11月30日〔日〕

主催：沖縄県立博物館・美術館

場所：沖縄県立博物館・美術館 3階 博物館企画展示室、特別展示室1・2

観覧料：一般 ¥1,500 (¥1,200)/ 高大生 ¥1,000 (¥800)/ 小・中学生 ¥500 (¥400) ※未就学児は無料

※()内は前売券および20名以上の団体料金

※障がい者手帳、療育手帳お持ちの方及び介助者の方1名様は当日料金の半額

開館時間：9:00～18:00（金・土は20:00）※最終入場は閉館の30分前まで

休館日：毎週月曜日、10月14日（火）、11月4日（火）、11月25日（火）

【 お問合せ先 】

《展示内容について》

沖縄県立博物館・美術館

本展担当学芸員（崎原・大城直也）【TEL】098-851-5401

《取材について》

沖縄県立博物館・美術館 指定管理者（一財）沖縄美ら島財団

企画班 広報営業担当（上地・金城正仁）【TEL】098-941-1232 / 【FAX】098-941-2392